

第二次西宮市地球温暖化対策実行計画平成 21 年度実績報告書

計画について

第一次西宮市地球温暖化対策実行計画の計画期間満了に伴い、平成 20 年度より第二次西宮市地球温暖化対策実行計画を推進しています。計画期間を平成 20 年度から平成 24 年度までの 5 年間とし、市の事務・事業（指定管理者制度の対象施設における活動を含む）から排出される温室効果ガスを平成 18 年度比で 3 %削減することを目標としています。

目標設定排出量

平成 18 年度と平成 21 年度の目標設定対象排出量は、下記に示す通りです。

排出量 kg-CO₂

エネルギー別	平成 18 年度	平成 21 年度	増減率
電気	36,827,118	37,604,004	2.11%
都市ガス	6,595,812	6,533,342	0.95%
ガス機関（ ）	13,937	20,980	50.5%
A 重油	795,534	569,976	28.35%
L P G	108,297	99,611	8.02%
灯油	348,149	319,152	8.33%
ガソリン	609,179	618,060	1.46%
軽油	501,462	408,295	18.6%
C N G	162,978	203,131	24.6%
自動車の使用に伴う排出（ ）	27,231	27,754	1.92%
目標設定対象排出量	45,989,697	46,404,304	0.90%

その他の温室効果ガスとして排出されるものについても二酸化炭素量に換算して算出しています。

平成 21 年度の目標設定対象排出量は基準年度と比較し、約 1 %の増加となりました。排出量全体の約 8 割を占める電気の使用量は減少しましたが、電力の調達先を比較的二酸化炭素排出係数（ ）の大きな特定規模電気事業者（PPS）に変更したことにより上の表に示すように増加しています。二酸化炭素排出係数：ここでは、電気の使用量に対する二酸

化炭素排出量を指す。

本市では他の自治体に先がけて電力の入札時における環境配慮を実施してまいりましたが、平成 21 年度には、全庁で統一的な入札基準を作成する等、取り組みを強化しています。今後も目標の達成に向け省エネルギーを推進し、より環境に配慮した事務・事業の実施に努めてまいります。

総排出量

目標設定対象とする排出量に、一般廃棄物処理、下水処理及び麻酔（笑気ガス）使用に伴う排出量を合せた「総排出量」を算出しています。平成 18 年度と平成 21 年度の総排出量は下記に示す通りです。

排出量 kg-CO₂

	平成 18 年度	平成 21 年度	増減率
目標設定排出量	45,989,696	46,404,304	0.90%
一般廃棄物の 焼却に伴う排出	62,955,601	55,725,687	11.48%
下水処理に 伴う排出	4,032,505	4,160,768	3.18%
麻酔（笑気ガス）使用 に伴う排出	37,200	0	100.00%
総排出量	113,015,002	106,290,758	5.95

平成 21 年度の総排出量は、基準年度と比較し約 6 %の減少という結果でした。主な要因として、一般廃棄物中に含まれるプラスチック類の含有率が、基準年度と比べ大きく低下したことが挙げられます。

本計画の詳細につきましては、第二次西宮市地球温暖化対策実行計画の計画書をご覧ください。HPアドレス：<http://www.nishi.or.jp/contents/00008432000300025.html>